

洋上風力発電低コスト施工技術開発について

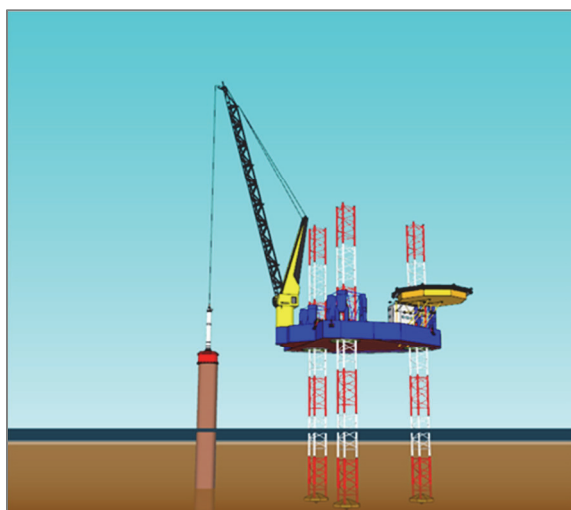
当社および株式会社吉田組、むつ小川原港洋上風力開発株式会社はこの度、国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が公募しました「洋上風力発電低コスト施工技術開発」事業に応募し、選定されました。

「洋上風力発電低コスト施工技術開発」事業は、2022年度までに洋上風力発電施設の建設コストの20%低減が可能な技術を確立することで、洋上風力発電の導入拡大に貢献することを目的とし、基礎構造および施工技術に関する技術の実証に先立ち、実際にこれらの技術の適用が想定される海域の特性などを踏まえた詳細な適用範囲やコスト低減の目標を設定するため、フィージビリティ・スタディ（FS）を実施するものです。（※FS：実行可能性調査）

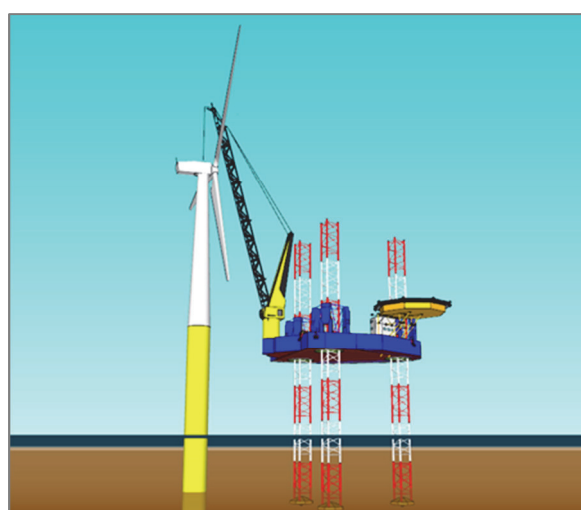
当社を含むグループは、「ジャッキアップ型作業構台を活用した基礎構造物の施工」というテーマを提案し、むつ小川原港洋上風力開発発電株式会社が計画している設置場所（青森県上北郡六ヶ所村）にて、モノパイル基礎を海洋掘削リグの改造による「ジャッキアップ型作業構台」を活用して着床式洋上風力発電施設の施工および運用保守の効率化を図ることで低コスト化を実証します。（※ジャッキアップ型作業構台：昇降可能な長い脚によって支えられ、海面より上で作業可能なステージのこと）

グループにおける当社の役割としましては、「モノパイル打設について効率的かつ効果的な施工方法を確立する」「環境基準への適合性評価を実施する」の2つになります。

当社は、海洋土木工事のパイオニアとして培ってきた技術や経験を活かし、再生可能エネルギー関連事業に積極的に取り組んでまいります。



基礎（モノパイル）施工状況



風車組立状況

以上